

昭和 37 年度 例会

例会には第 1 部と第 2 部とがあります。

第 1 部 一般研究発表

第 2 部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して
東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井 一郎 あて申し込むこと。

第 2 部 選定題目講演会

次の日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にして下さい。

主 題	会期	申 込 締 切 日	受 持 委 員
気象災害	10月	8/31日	研 究 所：渡辺
風のシンポジウム	11月	9/30日	測 器 課：清水
気象統計	12月	9/30日	長期予報：朝倉
台風	12月	10/31日	予 報 課：石原 研 究 所：松本 研 究 所：渡辺
生気候	12月	10/25日	研 究 所：神山
太陽活動と放射	(38年) 1月	11/20日	長期予報：朝倉

主 題	会期	申 込 締 切 日	受 持 委 員
気象電気	1月	11/20日	研 究 所：今井
気候	1月	11/20日	長期予報：朝倉
長期予報	2月		長期予報：朝倉
レーダー気象	2月		研 究 所：今井
観測と測器	2月		測 器 課：清水
メソ気象	3月		研 究 所：松本
対流雲	3月		研 究 所：松本
航空気象	3月		研 究 所：今井 研 究 所：渡辺 東京航空：上松

例会の研究発表募集

気象電気

会期：1月16日(水) 会場：気象大学校東京教室、申
込先：東京都杉並区馬橋 気象研究所 北川信一郎、
切期日：11月20日 午前：研究発表 午後：「気象電
気研究の発展方向に関する討論会」の予定

気 候

会期：1月中旬 会場：気象庁第一会議室、申込先：
東京都千代田区大手町気象庁予報部 朝倉正、切期日：
11月20日

太陽活動と放射：

会期：1月下旬 会場：気象庁内第一会議室、申込先：
東京都杉並区馬橋 気象研究所 関原 暲

例会のお知らせ

第 9 回 「風に関するシンポジウム」

(土木、海洋、建築、航空、地震、地理、農業気象、林
気象各学会共催)

参加学会：土木学会、日本海洋学会、日本気象学会、日
本建築学会、日本航空学会、日本地震学会、日本地理
学会、日本農業気象学会、日本林学会

会期：昭和37年11月19日(月) 9:00より

会場：建設省建築研究所講堂(新宿区百人町3丁目)
に変更

研究発表(9:00~15:00)

1. 石崎發雄, 川村純夫, 桂順治(京大防災研) 振動する円筒とその付近の流れについて
2. 斉藤鍊一(気象庁)：建造物に対する設計風速のきめ方について
3. 坂上治郎(お茶の水大)：建物の後のウェークの形を変える一方法について
4. 石崎發雄, 許昌九(京大防災研)：建物の屋根に作用する風圧変動について

5. 立川正夫(鹿大工)：第二室戸台風による奄美大島の住家の被害と地形の遮へい効果について
6. 岡本哲史, 八木田幹(東工大) 競技場、球場内の風について
7. 竹田厚(東大理)：波の上の風速の高度分布
8. 光田寧(京大防災研)：瞬間最大風速について
9. 鈴木清太郎(気象大), 矢吹万寿(大阪府立大)：山越風の研究(5)一山の風下の強風地の大気気温逆転層に関するの1, 2 知見
10. 根本茂(気象研) 局地風の相似則について
11. 相馬清二(気象研)：熱格子下流の温度変動の測定
12. 竹内清秀・横山長久(気象庁)：接地気層における乱れのスケールについて

特別講演(15:30~17:00)

1. 高橋浩一郎(気象庁)：確率を入れた風荷重
2. 佐貫亦男(東大工)：風の測定法